

Flieger

妖精さんを

つかまえた♡

前編

FOR ADULTS





ピクシーという妖精族が存在する

20~25cm程度の体長で後背部の羽根を除けばヒト型哺乳類に似た容姿を持つ。  
主に野花の広がる肥沃な地を飛び回り、採取した花蜜を醸成する。

彼らの醸成するそれは花の種類によって様々な風味が展開されているが、その何れも質が良く――

エルフ種の間では嗜好品、または保湿目的などに用いるために高値で取引されている。

またピクシーは雑食性でもあり、エルフの調理する旨味のある料理目的の為にかれらの家を訪れ自ら交換を要望するというような光景も珍しくない。

こんにちは  
お邪魔します

いらつしやい

ねえグウェ  
ストンさん

さて、ここに好奇心旺盛なフェレニースという少女がいた。

私たちの花畑はどこにあるの？



僕たちはこの辺に住んでいるんだよ  
小さすぎて  
わからないかな？

ここサレオンは  
フォルフェーデス  
帝国のヘルセス  
フォールトという  
領土の中にあつて

世界地図には載らない  
ほどの小さな街なんだ  
きみ達の花畑もこの辺

ええっ！  
そんなに小さいの！？

ああ、でも君たちの仲間は  
この帝国以外にもいるよ  
たとえば西の海を挟んだ  
このパロージュ王国とか

そんな所に

はは、世界は広い  
だろうこの大陸  
の殆どが帝国領  
なんだよ

ここが世界の  
全てだと思ってたわ

彼女はハイエルフ付呪師の  
青年グウェストンを気にと  
入っており、日々かれの  
家の窓から顔をのぞかせ  
ていた。

その南にあるザールや  
帝国と赤道を挟んだ  
亜熱帯のテリエン地方  
なんかにもね  
よほど寒いところでも  
なければ沢山いるよ

ねえねえこのすつごく  
遠そうな場所にも  
私たちの仲間は住んで  
いるのかしら？

いや…そこでは  
目にすることが  
ないな

そこはファルゴー  
という大陸で  
ドワーフたちの王国が  
幾つか存在しているんだ

どわーふ??  
それはなに？

ドワーフはエルフ達と  
違って魔術の術式が  
理解できずに使うことが  
できないんだ

それ故に機械や  
道具によつて文明  
を発展せざるを得  
なかつたんだ

術式に頼らない方法で  
インフラを整え機械を  
動かすにはそれなりに  
自然を開拓しなきゃならない  
そしてそのような環境下で  
彼らは生活している

つまり君たちの暮らす  
ような花畑は全くではないけど  
多くは存在しない  
これはビクシーが生活しづらい  
環境ということなんだ



ただ…その北の大陸には  
ひよつとしたら存在  
していないかもしれ

その昔そこには  
人間という生物がいて  
ドワーフのように発展した  
けど古代エルフとの戦争で  
絶滅してしまったから  
今は美しい野生動物の宝庫さ

見知らぬ土地に行く  
というのは誰にでも  
危険が伴うものだ

今ある  
仲間たちとの  
暮らしを大切にしない

ふんふん

いじわるっ!!  
なんぞいじわるなの!!

サレオンの花畑の外を  
知らぬ少女にとって  
外の世界はあまりにも  
魅力的に映り

海の方こうで暮らして  
いるであろう同胞たちに  
思いを馳せた。

ドーンゾルヴァ  
に納品する  
付託品はこれで  
全部か?

ヘルセスフォールト  
ノーゼガルク港

ねえグウェストンさん  
私この大陸に行って  
みたくなったわ!

ええ…

その小さな体で  
大海原を渡るの  
難しいと思うよ…

こくさいほ…  
なにそれ?

いやそれは…  
生態系保護の観点から  
全世界共通の協定で  
君たちのような生物は  
持ち込んではならない  
という国際法規に従わ  
なければならぬから  
とても難しいことな  
んだよ

えー…つと、まあ  
大人の事情でやつさ  
無理なものは無理な  
んだ

じゃああなたが  
連れて行ってよ♡

ドワーフの奴ら発電技術  
の発展に精を注いでいる  
みたいだが

結局のところ  
動力のコアはまだ  
我々の付託品に頼る  
のが現状といつた  
ところか

はは

まあエネルギーの殆どは  
有限なものだし  
それが常だからな



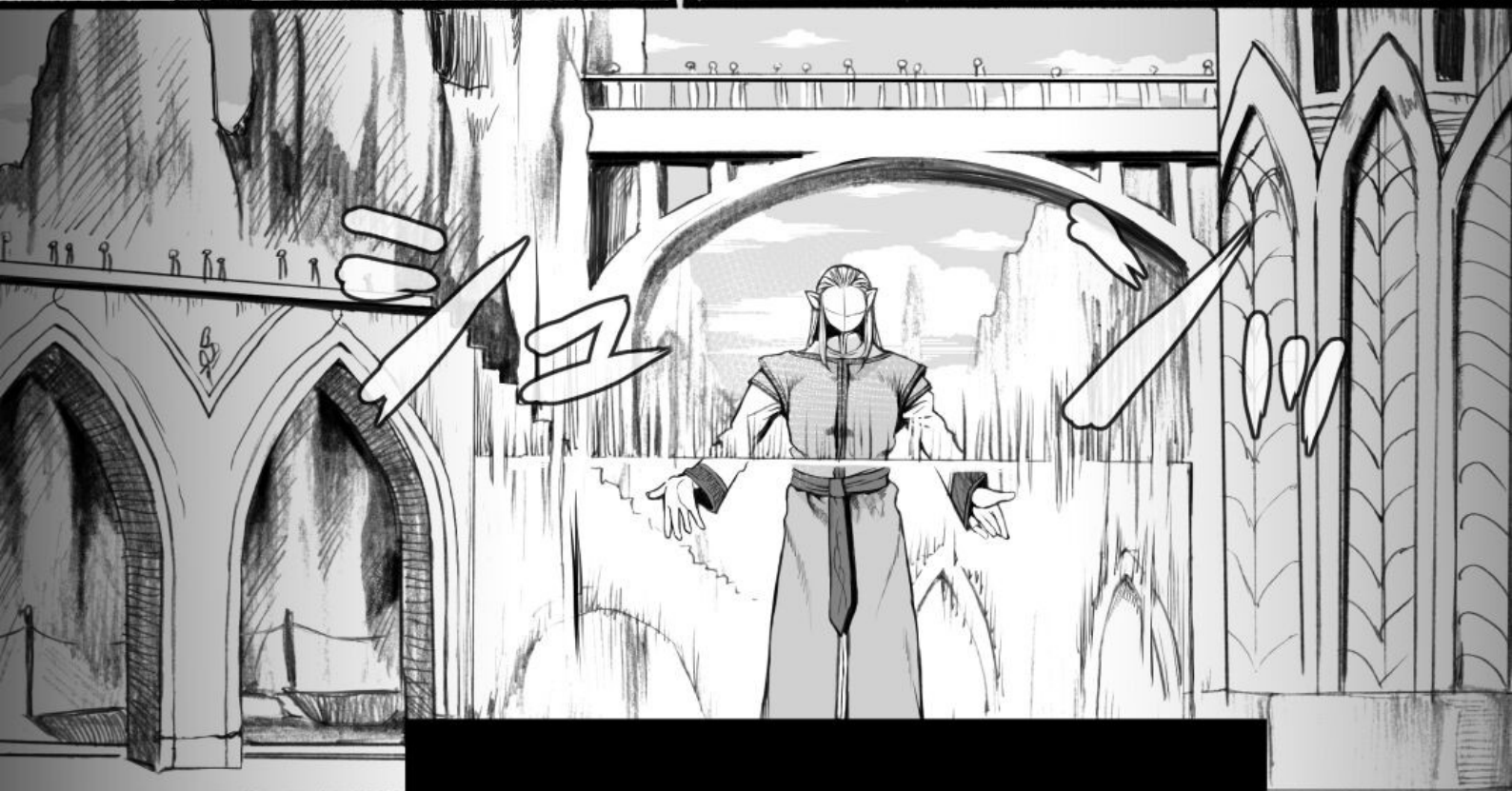


では今からこれを  
ドーンゾルヴァ・  
レイラグ港ドーンヴェク  
八番に転送する



帝国に目を  
付けられなきや  
いいけど

まあそのおかげでこうして  
副業でずいぶん稼がせて  
もらっているわけだけどもね  
僕にとってはあいつらは  
超お得意様みたいなもの  
でもあるんだ



ニユ



ラック

ラック  
いるかい

キニイ

イ  
イ  
イ  
イ  
イ









五日前はよくも  
逃げ出そうとして  
くれたよねえ

羽根のあるきみを捕まえ  
るの 本当は大変だったん  
だからね わかってんの？

僕に逆らったら  
どーなるか想像  
しよー？

ちゃんと反省  
してるのかなあ？  
このドジっ子妖精  
さんめッ☆

ま...でも

何日もこの状態で放置  
されりやイヤでも  
身染みて 理解できた  
とは思うけどね...

おま○この中にきみ専用のパイプ  
を突っ込んで 拘束されたまま  
の状態で

自隠しをされたまま  
五日間スイッチを一度も  
入れられずに 僕の気まぐれで  
おっぱいの先っぽが弄られて♡

すぐにイけちゃう体にな  
ってるのに全然イかせて  
もらえなくて♡

すっごく頭悪そうに  
ふみゅ♡ふみゅん♡  
なんて馬鹿みたいに鳴い  
ちやっ♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡

ふみゅん♡







もしもし  
グウェストン

何だい

その納品先なん  
だがレイラグ港  
の番地ではなく  
おいてくれ

ああ  
了解した

れくらぐ港って  
なあに？  
そのにもつを  
おくるの??

ああドーンゾルヴァ  
王国の玄関口である  
港町のことだよ

この前君と世界  
地図を見た時に  
教えたドワーフの  
大陸へ送るんだ

このとき

膨れに膨れ上がった  
好奇心を止められずに  
グウェストンの言い  
つけを守らず

何を考えたかかれが  
転送する荷物に自ら  
紛れ込み  
符呪品共々ファルゴー  
へと転送されてしまった  
のだった。

荷物の転送先は  
ドワーフ種の王国の  
一つドーンゾルヴァ

人工的な石畳と  
はげ山が広がる土地

見たこともない  
機械が町中を  
闊歩する  
未知の世界が  
広がっていた。

見るものすべてが  
フェレニースには  
新鮮で警戒なく  
辺りを飛び回った。

うわっ

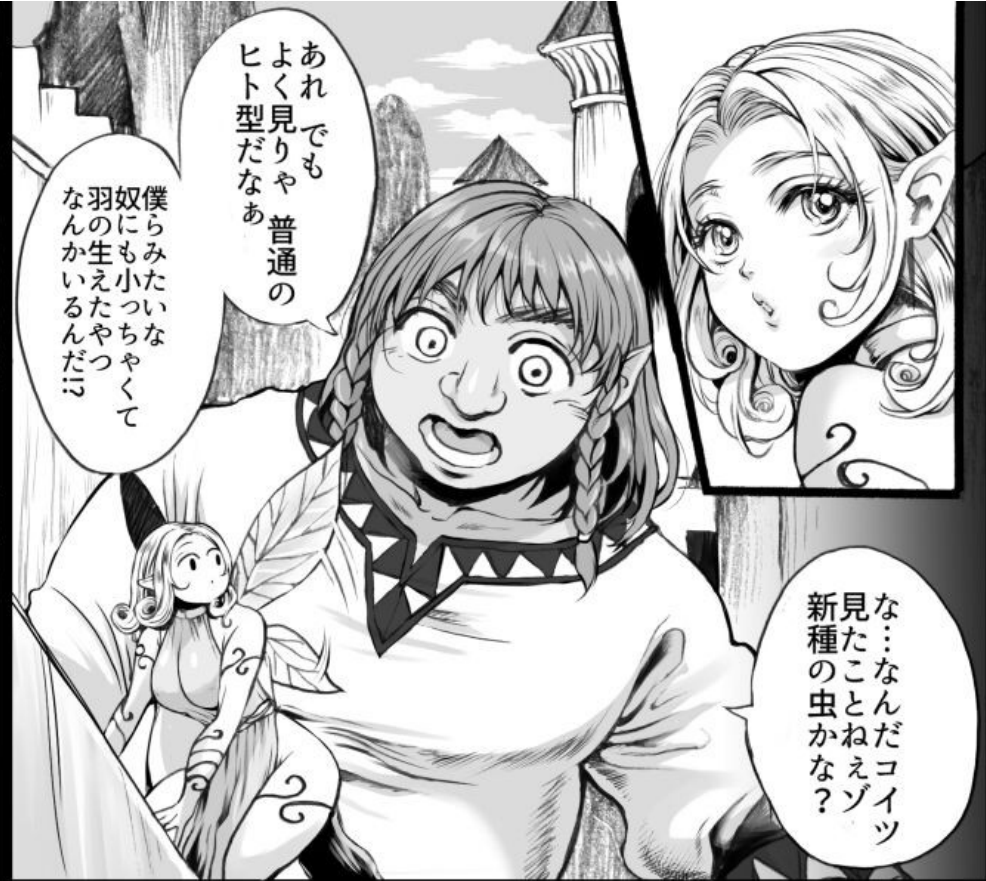




こんにちはは  
はじめまして!!

もしかして  
あなたは  
どわーふさん  
??

うわっつ  
なんか喋った  
し



あれでも  
よく見りや 普通の  
ヒト型だなあ

僕らみたいなの  
奴にも小っちゃくて  
羽の生えたやつ  
なんかいるんだ

な...なんだコイツ  
見たことねえゾ  
新種の虫かな?



きゃんじん

ぱたぱたと羽を  
はたためて妖精に  
愛らしい心も  
何の警戒も  
なく見つけた  
少年は



な...何喋ってるか  
さっぱりわかん  
ないけど...

よく見たら  
可愛いな...



考えるよりも先に  
彼女を捕らえ  
帰路についたのだった



うん...!!



うははは  
全身は  
だあふに  
♡ぷに

はなはなはな  
はなはなはな

こんな可愛い  
妖精さんがいたら  
捕まえないわけには  
いかないよねえ!!

ぜったいに  
ゆるさないん  
だからっ!!

フー!!

クシクシ

フー  
スノ

愛らしく、しかし豊満な  
フェレニースの肢体が  
思春期の少年の興奮を  
誘うには十分すぎた。



あっ!!

邪魔な♡  
あつちやもの  
は♡  
邪魔な♡  
あつちやもの  
は♡  
邪魔な♡  
あつちやもの  
は♡



お帰りラック  
今日は道草しなかつ  
たのかい  
珍しいねい

た...ただいま  
宿題が多すぎて  
早く終わらせて  
ようと思つて

ゴッ

ああそうかい  
わかつたよ  
頑張りな



ふふふ  
はあ♡はあ

はあ  
はあ  
はあ

みちくさくつて  
る場合なんかに  
ないよええ!!

はあ  
4



いん♡なんかに  
お花の香りがする  
ケドどっから来たの?  
エルフの奴らが  
国に住んでるとか?

ツェッ!!  
めグッ  
てグッ  
てグッ

はあ  
はあ  
はあ

あつはは!  
何言つて  
るかわかん  
ないや  
まあい  
や





こ…これが  
女の子の  
おっぱい…  
すげえええ！  
母さんのモン  
しか見たこと  
なかった  
よ………

あなぐやいっ！  
りてしめだてし  
酒ニミツッ  
！！

うお……  
すげえええっ  
すげえええ二



しかもそれが  
自分の手ひとつで  
どうにでも扱える  
ような代物ならば  
なおさら



きみのおっぱい  
スライムでできて  
のかな？♡

もちもちして  
色んな形に……  
変化して……

きゅん～♡

やああんッ！

ミルクとかり  
出ちやつたり  
してー♡

やだあ



ごめんね  
怖がらせちゃ  
ったねえ♡

そんなに泣かないでよ  
酷いことは絶対に  
しないからさ♡♡

なめよう  
やあやあ

ゼッ

ベッ

お

ひい!

んんっ♡妖精さんの身体  
どこもかしこもピンク色で  
甘あつい♡



おおつと!逃げ  
ようとしても  
無駄だよ♡

ああっコラコラ  
そんなに暴れ  
ないでよ!

これからは僕が  
きみのお世話を  
してあげるから  
どうか僕を信  
じてほしーいん  
だよ♡

おうち  
かえるツ

やだあ



あ♡

ああんツ

吸ってれば  
そのうちミル  
ク出るよにな  
るかなあ?

ズン  
ズン

おっぱいも  
ぷりっぷりで  
♡むっ♡ちゅ  
う♡う♡う♡





そんなワケでさ  
僕はジャグラク  
これからヨロシク  
ねえ♡

ひいひいイ...

少年に捕まえられた  
哀れなピクシーの  
監禁生活が幕を開けた。

むちやうう〜



おーよかった  
ちゃんとき  
てる♡

彼女は銅製の小型の  
物入れにて飼育された。  
もっとも飼育といっても

日中は逃げら  
れぬように  
口をふさがれ  
磔にされ、

少年の帰宅とともに  
拘束がほどかれ、深夜には  
また拘束され放置という  
囚人のような扱いであった。

毎日縛っちゃって  
ごめんねー今日も  
僕といっぱい遊ば  
うね♡



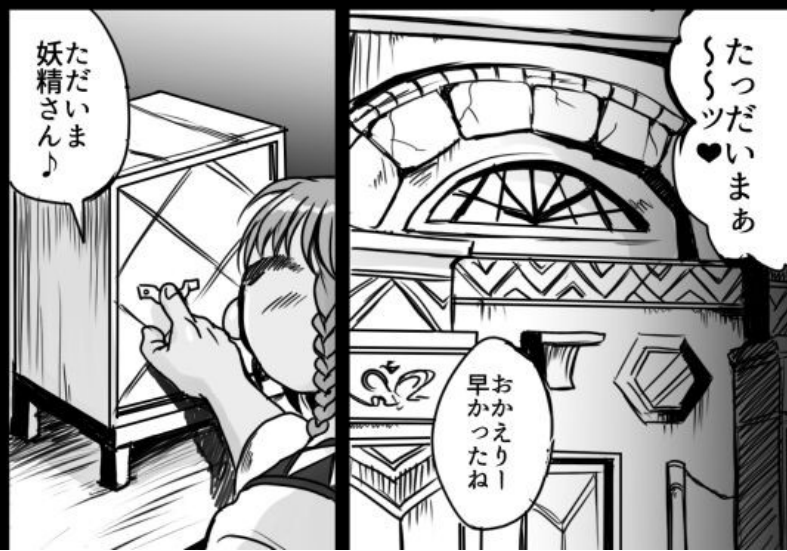
あーうん  
親父の手伝い  
頼まれてさあ  
また明日遊ぼう  
じゃあねッ

なんだラク  
もう帰んの？  
街に出ねえのか？

やんちゃ坊主だった  
彼はフェレーースを  
捕まえてから  
大人しく帰路につく  
ことが増えた。



ちえっ 最近  
付き合ひ悪いなあ



たっだいまあ  
♡

おかえりー  
早かったね

ただいま  
妖精さん♪



すーはー♡

はなっ♡

すーはー♡

最初のうちこそ思春期の少年よろしくこの丸みを帯びた肉体の柔さを楽しみ警しい香りを堪能する程度だった

ある日のこと――

あっ…

あ…んッ

やだあッ

不思議だよきみの身体を揉んだり匂いを嗅いだりしているとどういふわけか心が落ちてくんだよね♡



なんか…いつもと声が違ってエツチにな…

おっぱいの先っぽつままれるの気持ちいいの？じゃあこれなんかどう？

乳頭を抓んだ際に、ふと彼女の口から漏れ出る甘い吐息と

アッ…

艶めかしく腰を仰け反らせる姿を目にしたとき

彼は彼のなかの興奮のより深いスイッチが押されたような感覚を覚えた

あ♡

ぎゅ♡

あ…ん♡

む…♡

びゅ♡

くり♡

くり♡

びゅ♡

くり♡

くり♡





少年は己の欲望に忠実に、  
容赦なくその青い性欲を、  
小さな肢体にぶつけた。



こ...これ気持ち  
良すぎッツ...♡  
...なんだコレ...♡

っ...  
はあ  
♡

毎日 舐められ  
不躰な臭気を嗅がされ  
汚物を放射され 性欲の  
はけ口にされる

もう  
やだあ...!!

おはなばたけ  
かえろっ...

少女にとつて  
耐え難い苦痛の  
連続でしか  
なかった。

うへへごめんね  
勢いあまって  
めちやくちや  
ぶっかけちゃった  
...大丈夫?

そんなに  
泣かないでよ  
ごめん

でも君の身体  
この世で一番  
気持ち良かった  
♡

思春期の少年の女体への興味と  
危険な好奇心はとどまる  
ところを知らなかった。

今日はこの  
クリアケースに  
入って  
もらうよ♡

時としてその純粋さは  
残酷性を帯びたものと化し  
フェレニースに牙をむいた。

じゃーん♡

ぴら

帰りにいろいろ寄り道して  
インプ見つけたんだよね!  
今日はこいつとせうくす!  
してもらおうよ!!

ビク!

一昨日さあ 保健の授業で  
どうやったら女の子に子供が  
できるかっての習ってさ!  
それから僕の頭から  
授業内容が全然離れなくて  
困ってたんだよね

実際にやる  
ところを想像したら  
どうにもコーフンが  
おさまらなく  
なっちゃって....

こ  
ろ  
ろ  
か  
さ

で、どうにかして  
ナマでそれを見れない  
かなって考えたときに  
「きみがいるじゃん!!」  
って思い出したんだ!

ーって  
わけで!



フェレニースは  
凍り付いた。

このインプという生物は  
極端な寒冷や灼熱の地で  
ない限り帝国内外で  
見られるが

彼らは雑食性で長い槍や長刀を  
操る知能を持ち、自らと同じ背丈の  
小動物を狩りそれを糧にする。

もちろん獲物には  
ピクシーも含まれ  
単独で奇襲攻撃を  
しかけては  
確実に仕留める  
獰猛なハンター  
である。

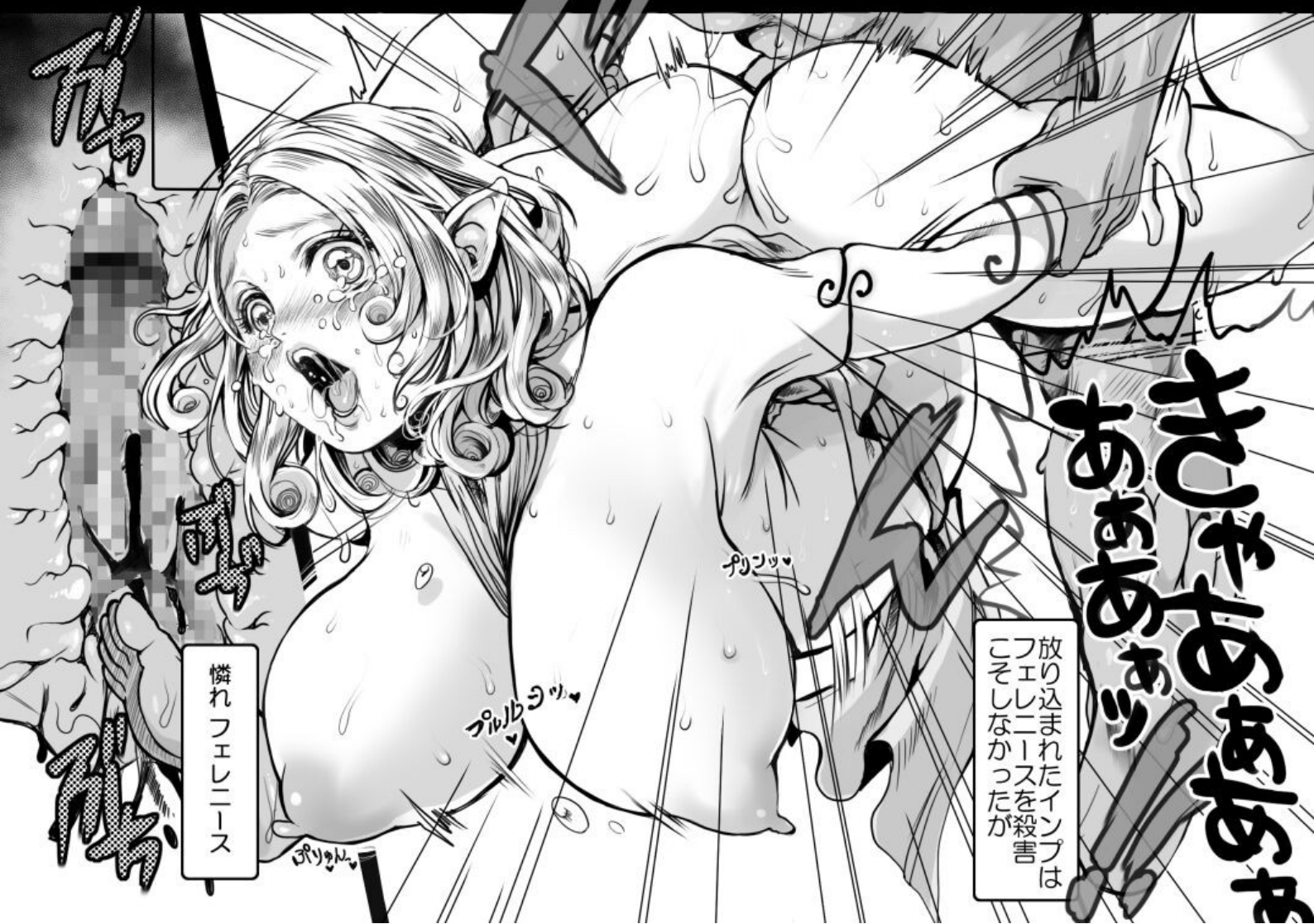
この捕食者の習性を  
つゆほども知らない  
少年は

さあてどんな  
面白いものを見せて  
くれるかなあ

ピクシーの檻に暴君を  
放り込んでしまった。



や...やめて  
こないで...



放り込まれたインプは  
フェレニースを殺害  
こそしなかったが

憐れフェレニース

未通娘の初々しい  
秘所は暴君によって  
あつという間に  
破られてしまった。

あつ♡おま○こに  
ちゃん入つてる！  
ちゃんと妖精さん  
にぽうあぎなうって  
付いてるんだねえ！

小さすぎてどこに  
あるか全然わからな  
かったよー！

逃げ場も助けもない  
狭い空間で  
か弱い妖精はなす術  
もなく――

この暴君により  
与えられる容赦のない  
責め苦をただその身で  
受け続けるほかなかった。

はええ、せつくす  
つてこんな風にやるん  
だねえ……ちよつと意外

少年は二匹の交尾の  
様子をケース越しに  
興味深そうに眺めた。

おま○こにちゃん  
さえ突つ込めば  
いいのかな??

っていうか妖精さん  
さつきからずと  
押され気味じゃん！

大丈夫？もつと頑張つて  
インプなんかに負けちゃ  
だめだ！やり返さなきゃ  
ほらっつ！

まるで自由研究の  
ために捕まえた昆虫の  
行動習性を観察  
するかの如く







え？まだやるの？  
妖精さんだけど……

ひゅー……  
びゅ……



やー面白  
くモ  
んがて  
だねえ  
くす  
！

妖精さん体力なさ  
すぎだよ！もつと  
ちゃんと鍛えなきゃ！



思春期の少年は  
あの手この手で  
ピクシの肉を  
隅々まで知ろうと



そこを刺激すると  
めちやくちや気持ち  
けいらいんだ

どうやら君の  
おま○この上に  
クリトリスっていう  
凄く小さい豆粒  
があるみたいで

あ！

どう？  
気持ちいい  
かな？

機械技師の息子である  
少年は彼自身も工作や  
電気系統に詳しく



ねえ  
妖精さん

あーあ

僕あれから気になって  
女の子の身体について  
図書館で調べたん  
だけど

んみっ？



君の身体が小さいから  
クリトリスも小さ  
すぎて見つけるの  
苦労したよ

砂場に落ちた  
ミニネジを探し  
だすようなもん  
だよまったく

帰宅するなり通学中に  
浮かんだ道具のアイデアを  
工房で具現化させ

完成した試作品を  
そのまま彼女の肉体に  
あてがい実験を重ねた。

あははカクカク  
してる  
かわいいー♡

あうああ三  
じんあう  
止めて止めてえ

小さな陰核にあてがわれた  
その無機質な振動がわかれた  
彼女を逃げ場のない快楽の  
果てへと追いつめる

あああああ  
何これツツ  
何これえツツ

にやにやこれツツじんじん  
さんがっどんどん  
ひどくなりゃッッ  
なんかきちゃッ...

おほっ♡♡♡







ただいま  
妖精さん！

やがてフェレニースは少年の  
開発した様々な機械によつて  
毎日朝から夕方まで  
連続強制絶頂を体験させられた。

彼は以前グウェストンがこの地に  
密輸したコアを入手し  
これを利用した半永久的な動力を  
兼ね備えたピストンマシンを開発し  
スイッチを入れたまま半日にわたり  
彼女を放置した。

帰り遅くなつて  
ごめんね今日  
補習が長引い  
ちやつてさあい

監禁から十日以上も  
経過する頃には妖精の  
ありとあらゆる性感帯が  
調べつくされていた。

絶頂のたびに分泌された  
愛液・潮や尿は  
くり抜かれた臀部の下の  
カップに全て流れ

少年が帰宅するころには  
毎日決まって溢れんばかりの  
体液が溜まっていた。

おおおっ♡今日も  
おま○こ汁こんなに  
溜まってさぞ山  
イッたんだらうね♡

陰核への振動と連動  
しておこなわれる  
ボルチオへの容赦の  
ないピストン運動は  
彼女の肉体に毎秒の  
絶頂を習慣づかせた。

でもそのぶん長いこと  
おま○こ突いてもらえて  
良かったでしょ？  
きみこれ好きだもんね！

さてカップの  
ほうは…と…



僕のために  
こんなに分沁して…  
せつかくだしご褒美に  
君のきもちいいところ  
ぜーんぶ気持ちよく  
してあげようかな  
♡♡

んあうツ♡



少年はフェリスの  
快樂なため狂う姿を  
見るため複雑な機械  
その制作も厭わなかつた。

その姿はまるで  
タチの悪い  
麻薬中毒者の  
ようだった。

あはは♡気持ち  
良すぎ♡言葉も  
喋れなくなつて  
る♡♡

もつと狂うんだよ  
ほら♡ほら♡♡

ニすっ

ニすっ







それじゃ満  
持してツき  
まいっただ  
あす♡

な甘妖ん  
あく精ん  
♡てさっ  
♡美ん♡  
味のや  
しおっ  
い汁ぱ  
は

「あ、ちそうさ……  
あれっ、大丈夫……」

既に快樂の渦潮に  
捕らえられきった  
フェレニースかと  
思われたが――



逃げたツツ

沐浴のさい  
一瞬の隙をつき  
ジャグロックから  
逃げ出した。

あつコラツ

妖精さん

彼女の中にはまだ  
故郷の仲間への思いが  
強く残っていた。

後ろを振り返ることもなくがむしゃらに飛んだ海に向こうにある故郷ヘスセスフォールト州サレオンそれ一点だけを指目して…………。



しかし



く…つそ

はぁ、はぁ

手こずらせ  
やがつてよお



もどつて来い  
こらああい  
あううう  
ツツツ



少女はレッドスパイダーの  
巣に捕らえられていた。

彼女の飛行能力は日々の実験による  
拘束のために羽に開けられた無数の  
釘穴によって大幅に衰え

あと一歩で餌にならんとしていた。

どうせこうなる  
ことはわかって  
きつてたのに…

よくも逃げ出して  
くれたよね…

こうして

ご主人様…に  
逆らったら  
どうなるか

ちゃんとして  
だろってねえん

もう…もう  
ゆるしてくれ  
る…?? スイッチ入れて  
おま〇こいっばい  
いじめてくれ  
るの…??

少年の怒りに触れた彼女は  
一向に動かぬピストンマシン  
の上に五日間放置され

んんんどうし  
よっかなア

きみがイキたいばっ  
かりに嘘の忠誠を  
してるかもしれ  
ないからなあ。

しませんッ

おっけー…  
じゃあ

びぎぎぎ

現在に至るの  
だっただけ

はー

はー

もうご主人さまから  
逃げたりさからったり  
ぜったいにしませんッ  
ご主人さまの命令  
ならなんでも  
ききますッ

そこまで言う  
ならきみの  
忠誠心を見  
せてもら  
おうかな



シヤグラツクに  
命令されたたん

一所懸命ご奉仕してる時  
必死にパタパタしてるの  
滑稽で可愛いんだよね♡

前に逃げ出したときに  
羽根を全部切っちゃおう  
とも思ってたけど切らなくて  
正解だったね♡

条件反射のように  
彼のペニスに飛びつき  
夢中で腰を振った。

で…でも見たこと  
ないくらい夢中で  
抱きついてるね♡  
すごく情熱的…

あははっ♪そんなに  
がつついて抱きつかなくても  
ちんちんは逃げないから  
安心してよ♡

そんなカリ裏  
までつつ♡

んほおっ♡

あぁあ♡  
五日分の僕の  
チンカスが綺麗に  
舐め取られちゃう♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ!!

んん!!

んん!!

んん!!

んん!!

んん!!

んん!!

んん!!





熱れ切った肉体を放置され  
続けた彼女の理性は  
とうに限界を超えていた。

イキたくてイキたくて  
たまらなかった。

少女は誠意を見せるため  
ご主人様の睾丸をばね替わりに  
踏み込み、たつぷりとした肢体で  
夢中でご奉仕した。

一刻も早く射精させるため  
彼女に形振り構う余裕はないのだ。











ご主人様への誠意を  
見せたフェリーニースは

いんあひいいいいいい  
いいいいいいいい  
ツツツツツ

これいつもの  
ピストンマシンを  
お腹の中でぐりぐりウネ  
動作をするように改造  
してみたんだけどどう？

：ってその暴れっぷり  
を見ると答えは出て  
いるようだね  
気持ちよくなれてる  
ようで何よりだよ

んおおツツ  
またイクッ  
イキ過ぎて死ん  
じゃうううツツ

イグッ  
おま〇こイグッ

心行くまでデイルド  
マシンの上でいやという  
ほどイキ狂うことが  
許された



ああ…  
おま〇こ突かれる  
おびるんばい  
ぶたるんにお  
エロ過ぎ…！



とめてツ  
とめてええ  
えええ

だめだよお！  
スィッチいれて おま〇こ  
めっちゃくちやにしてって  
言っただのきみでしょうが！



あゝツツやばいさつき  
イッたのにまたもや  
興奮してきちゃった



んおお♡  
イグイグつつ♡  
んひいいイッ♡  
まらイグツツ♡

イグすぎで♡  
しんじやうう♡  
うううう♡

んっ♡

ぎゃっ♡

おふう♡  
んっ♡  
んっ♡  
んっ♡

の精のごめ射め  
よおぎ液射め  
三てが精んよ  
る溜で玉袋に  
んだり

どめでえええ♡  
あひゃ♡  
う死しぬ♡  
ツんじや♡

ぐぐ♡  
ぐぐ♡  
ぐぐ♡

ぐぐ♡

ああッ♡  
また出るッ♡  
あみあみ♡

「おあすけから解放された  
フェレニースは短時間で  
実に二百回以上の連続絶頂を  
経験し」

ジャグロック自身も  
実に八回もの  
射精をおこなった。

率丸が空になる頃 彼の目には  
度重なる絶頂の果てに  
満足げに気を失い 痙攣する  
あわれな妖精が映し出され  
ていた。

お疲れさま♡  
僕も妖精さんが  
エッチすぎて  
8回も射精し  
ちゃったよ…♡

最後の一回ッ♡

はーはー





妖精さん  
ただいまあ♪

身体の具合は  
どうかな  
寒くしてない？

ごはんの  
時間だよ♪

日に日に大きく  
なってるね  
ちゃんとお食  
べて栄養つけ  
ないとだね！

でも三日でこ  
まで大きくな  
ったのはビク  
クリだね

僕まだもうすぐ  
自分がパパに  
なると実感  
が全然湧  
かないんだ  
けど……



これがもし  
ドワーフの女子を  
妊娠させちゃっ  
たらと思うと  
ゾッとちゃう  
けど

ふにゅ  
ふにゅ

君ぐらいの小さい  
子供なら  
どうにか育て  
いけそうだよ♪

男の子かな  
女の子かな♪

どっちでもいいけど  
女の子なら君と同じように  
もつちもちぶにの  
とつても可愛い子なんだろう  
なあ♪

みんなです  
家庭を築いて  
いこうね♡



自分が生んだ娘（長女）とともに、ジャグラーックのペニスにご奉仕するフェレニース娘は生まれてから教育を受けていないため、倫理観を持たずに育ちあらゆる性行為を何の疑問も持たずに受け入れ、母親を困惑させ続けている。

母子ともにジャグラクの子を孕んだ腹で、主人様のベニスを挟み込み娘の合図とともにその小さな肉体を全身使って上下運動を始める。

スライムのような柔い肢体に挟まれご奉仕を受ける彼のそれは、またたく間に反り返りだした。

「……ん、童女がくるると判

ピクシ―二人も、陰核がぬるぬると刺激されて気持ちがいいのかより激しく腰をくねらせてご主人様を悦ばせる。

ぶびゆるるるるるる……。

勢いよく二匹が肉体を上  
にやつたところで、彼の肉棒も  
また勢いよく射精した。

「やったあ♪どれだけパパのおちんちんから  
こだねを早く出せるかじっけんしてたけど  
これすっごく気持ちいいみたいだね♡」

私いっぱいパパの赤ちゃんをうんでもつともとおママみたいなたぶした体になりたい♡  
いっぱいパパの赤ちゃんをうんで♡

夫婦は仲が良くなくては……と思ったフェレニースは、わが子の望まままに彼女とともにご主人様であり夫であるジャグラックの性の欲望を従順に受け止めるようになる。

遠い故郷サレオンの花畑、仲間やグウェストンたちへの想いを胸に封じ込めながら……



子供を産みすぎて、その都度母乳を分泌しすぎて乳房がずいぶん肥大化してしまったフェレニース。夫であるジャグラクのペニスをご奉仕する方法を子供たちのまゝで披露する。

釘を打ち付けられた羽は全く修復されず、著しい体重の増加が原因で、もはや自力での飛行は不可能に。美しい虹色に輝くピクシーのアイデンティティは、もはやただの飾り物と化した。

……そんな感じで、完成版はフェレニースはもちろん、子供たちも男女交えて大乱交&パパへの大人数でのご奉仕といったカオスを前面に出した作品になると思います。よろしくお願いいたします！





## Pherenice フェレニース

ヘルセスフォールト州サレオンそばの花畑に住む20センチ程度のピクシー族の妖精。  
好奇心旺盛で、後先を考えることがあまり得意ではないようです。

作中で触れる描写はしていませんが、花畑の女子のなかでも可愛らしく男子からの人気も高いらしいです。しかし、故にややわがままな性格で自分の思い通りにならないことや気に入らないことがあると「ぶきゅっ！」と膨れるので、見る人によっては彼女にイライラするかもしれません。

街に住むハイエルフの青年グウェストンが好き。



## Kzyagrak ジャグラック

ドーンゾルヴァ王国の街に住むドワーフの少年。両親と3人ぐらし。  
愛称はラック。

よく学校の友達としょうもない悪さをするようなやんちゃ坊主ですが一方で機械製作を得意とし、自分のアイデアを具現化するために工房で熱心に製作に取り組む集中力も持ち合わせているようです。

とはいっても、中身は思春期の少年なので女の子には興味津々。  
フェレニースをいたぶる際も自分に「対象をいたぶっている」という感覚がないため、ややサイコのケがあるかもしれません…。



## Gweston グウェストン

サレオンに住む符呪師のハイエルフの青年。教師でもあり、生徒たちに変性学術を教える他方で、副業として作成した符呪品をファルゴー大陸のドワーフたちに密輸しています(違法です)。  
まさかフェレニースがそこまで賢くない生物だとわからずに外の世界を教えてしまいました。

余談ですが、符呪品の国外輸出やエルフ種以外の生物に貸与・譲渡・売却することは原則例外なく違法であり、足がつけば重い刑事罰が下されます。エンチャント物は個人製作品であっても、厳重な管理が必要とされています。  
同様に在来種の国外への輸出ももれなく逮捕されます。  
物語の後半は、かれがフェレニースを探しに行くパートもあります。

◆当書籍の18歳未満の購読を禁ず。

◆当書籍の本文のインターネットへのアップロードおよびそれに準ずる行為を禁ず。  
当サークルは2016年初頭に起きた違法アップロード事件を機に、担当弁護士の方を通して兵庫県警に被害届及び告訴状を提出しております。  
当サークルは当該行為に対し、非常に厳しい措置を講じておりますことをご理解ください。

◆Do not subscribe to this book under the age of 18.

◆I forbid uploading and sharing the contents of this book on the internet.  
Since my work was illegally shared in 2016, I have filed a complaint against the criminal with the Hyogo police through my lawyer.  
I'm having very strict measures against this act. Please fully understand this.  
(It doesn't matter whether the accused is Japanese or foreign.)

後半のストーリーは、この作品が違法アップロードされなければ2年以内には発売されるはずです。

The second half of the story will be released within two years if this work is not shared illegally.